

松永町長 そうすると先程の観光事業というものが脚光を浴びることになるのがね。



松岡普及員

松岡普及員 日置農業改良普及所では、農業の活力がどんなにある

集落農業の展開が鍵

松永町長 昨年度から県のご指導をいただいて、地域農政の推進事業を取り上げ宇津賀地区では、農村地域整備共同推進事業を全集落を対象に始めましたし、また別に地域農業集団育成事業を宇津賀地区を除いた菱海・蔵小田・向津具地区の七部落で行います。いよいよ農業に哲学を入れる時が来たなという感じを受けています。これはかなり長期的にねばりのいる仕事だと思いますが、これについて適切な指導の言葉をいただく幸せですが……。

松岡普及員 今日、農業を取りまく情勢は非常に厳しいものがあります。このような状況のもとでは従来のような価格政策に傾斜をした農政というものは期待できないと思えます。従って今からは、

かを調査しているんです。向津具は生産も所得も上がっている集落が多く、活力の面からいえばランクの上位の集落が多いようです。新しい作物を考える場合投資をしている集落では、それなりに所得が上がっているという結果が出ているようです。

また、よそに行きますと、おいでませどこぞ町へ」といったキャッチフレーズが町の入口に作ってありますが油谷町もそういうものがあるといいですね。

松永町長 そうですね。そういったお知恵をどんどんお貸しください。



宇津賀ふるさとまつり

に、まさに農業に哲学を入れていかなければならない時期だと思えます。

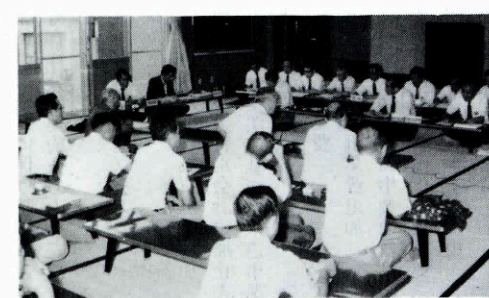
この地域農業集団育成事業は、県としても引き続き息の長い対策として進めていきたいと思えます。

松永町長 農業構造を徹底的に改善していく構造政策というものを進めていくことが非常に大事だと思います。そういうことによってコストの低下を図り、産業として自立できる農業にしていかなければいかんと思うわけです。それがために県では、昭和五八年度から地域農業集団育成事業を始めました。これは集落におけるすべての人による話合いによって、集落営農を実現していくという施策なのです。たとえていいますと、農用地の集団的な利用調整、あるいは農作業受委託の斡旋とか、作付地の集団化・栽培の申し合わせといった、いろいろのことを話合いの中で進めていくということなので、地域農業を組織化していくということなのです。町長さんが言われたよう

も良くしようとするものであり、また、どんな村がいいか、どういう点に問題があるかということをお話合って集落の活力を生み出すものとするのです。

松岡普及員 そうですね。共同推進事業というのは、兼業農家である方が専業農家である方が、農村に住んでいる者が自分たちの集落を良くしたいということから話

松永町長 漁業に農家の方が手伝いに行くことが多いわけですね。そのような関係で農業に対する意欲というものが阻害されたのではないかと思います。こういったことも土地利用の面で影響があると思えます。



地区懇談会

松永町長 それでは最後になりましたが、県の立場から油谷町を眺められて油谷町および油谷町の農業に期待されることについてお話をいただけたらと思います。

藤本農林部長 油谷町は気候・風土に恵まれ人情も非常に豊かなすばらしい町です。町の基幹産業である農・林・水産業だけに限らず、いろいろな発展の可能性を秘めた町ですから松永町長さんの町政運営よろしきを得て、町勢の振興は期して待つべきものがあると思えます。

松永町長 農業について見ましても、県農業の中で重要な地位をしめておりますし、先程から申しております畜産は県下でもトップクラスの地域でございますので、農業を基幹的な産業の一つとして、この地域が益々発展していくことを心から期待いたしております。そのためには県としては農林業等でできるだけのお手伝いをしていかなければならないと思えます。厳しい今日の農業を取りまく情勢の中ではございますが町長さん、今後油谷町の農業振興に格段のご尽力をいただいで立派なふるさとづくりをしていただきたいと思います。

松永町長 どうもありがとうございます。大変お忙しい時にご出席していただきまして誠にありがとうございます。今日お話をいただいたいろいろなご意見・ご指摘は、今後の油谷町の農業の上に、また、油谷町の町政の発展の上でできる限り生かして行きたいと思っております。ありがとうございます。重ねてお礼申し上げます。